



# さとやま

## 8月の里といきもの

今年の梅雨明けは、例年より遅く7月20日でしたが、その前にすでに、「危険」な高温の日があり、里のいきものたちにも影響がありそうです。「異常」が普通になってしまっているこの頃ですが、ここ数年、里で8月に見られるいきものたちをご紹介します。

### オトギリソウ



7～9月、写真の棚田の石垣や、万灯山で見られます。ただ、ここ数年は万灯山では植物自体はあるのですが、花がつかなくなり、石垣でも数が減っているようです。これも最近の高温のせいなのでしょう。

オトギリソウ科に分類される多年草で、日当たりのよい山地や丘陵地を好みます。高さは40～60cmになります。花期は7～8月淡黄色の花をつけます。

葉や花をよく見ると、「黒点」と呼ばれる黒い点や線がたくさん見えます。平安時代、この草を原料にした秘伝の鷹の傷の薬を、鷹匠の弟が他人に漏らしたため、激怒した兄に斬り殺され、血しぶきがこの草の模様となった。そのため、「弟斬草」と名がついたという伝説があります。



全草を日干しにしたものは、「ショウレンギョウ」という生薬になります。煎じ液は止血・月経不順・鎮痛の目的で服用され、リュウマチ・神経痛・痛風には浴剤として使われます。虫刺され・切り傷・打撲には、生の葉を絞って塗布すると効果があると言われていますが、皮膚炎を起こすことがあるので、注意が必要です。

花は午前中に開き、昼過ぎにはしぼんでしまいます。

オトギリソウの仲間は、高山に多いのですが、6～8月頃、長円寺や菖蒲池で、小さい、よく見るとオトギリソウによく似た植物が見つかります。

### コケオトギリ



オトギリソウ科に分類される多年草です。湿った場所を好み、田のあぜや湿地などに生えます。長円寺の入り口の階段でたくさん見られ、菖蒲池でも見かけます。黒点はありません。光に透かしてよく見ると白い点（明点）が見つかります。

長円寺本堂の前には、ちょっと様子の違うものも見つかりました。

### ヒメオトギリ



やはり、オトギリソウ科の多年草で、コケオトギリより立ち上がるのが多く、花のすぐ下の葉が細長く、雄しべの数がコケオトギリは5～8本なのに対し、こちらは10～20本あります。やはり、黒点はありません。

8月はこんな生きものも見られます



駐車場の北側斜面には、オレンジ色のノカンゾウの花が咲きます。

林で見られるクサギは、葉はビタミン剤のような臭いがしますが、花は芳香を放ちます。

ビオトープ上の池のマツの根元では、アキカラマツが花をつけます。

小草池北側の私有地に生える**ワルナスビ**は、全身棘だらけの除草しにくい姿である上、ミニトマトのような実は毒があります。ご注意ください。

田んぼのあぜには、アゼナの仲間の花がたくさん見られます。写真は鋸歯が見られるので、外来種の**アメリカアゼナ**のようです。

田んぼの近くでは、キタキチョウの食草である、葉がネムノキに似ている**クサネム**の黄色い花が咲きます。



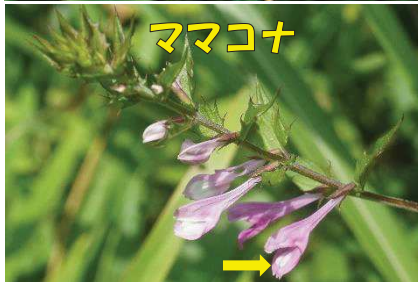
ワルナスビ



アメリカアゼナ



クサネム



ママコナ



オケラ



リスアカネ

万灯山山頂付近では、花の白い部分をご飯粒に見立てて名がついた、**ママコナ**が花をつけ、つぼみの集まりを包む総苞が魚の骨のような、**オケラ**が見つかります。これらは、お盆に行われる「かぎ万燈」の行事のとき、刈られたり焼かれたりして姿を消してしまうことが多いです。

最近では、温暖化のためか、ママコナはもう一度成長して花をつけることがあります。オケラのつぼみは6月頃からゆっくり成長するため、うまく残ったものだけが花になります。

長円寺では、翅の先が黒い少し小さめの、**リスアカネ**が他の赤とんぼに先駆けて現れます。「リス」は、動物ではなく、スイスのトンボ学者の名前に由来しています。

猛暑の夏です、熱中症に注意して、里を散策してください。

## さとやまニュース



今年7月、里ではこんな蝶が多数見られました。

写真は夏型で、一見、アサギマダラのように見えますが、飛び方が違います、前翅はゴマダラチョウに似ています。

これはタテハチョウ科に分類される**アカボシゴマダラ**です。東アジア原産の外来種で、人為的な放蝶によって増えたようで、近年関東を中心に、各地で目撃されています。

春型は、白地に黒く細い線があり、赤い斑紋はありません。

幼虫はエノキを食べて育ちますが、適応力が強いので、同じ植物を食べる、国蝶の**オオムラサキ**や、**ゴマダラチョウ**、**テングチョウ**などの在来種と競合することが心配されています。

特定外来生物に指定されていますので、飼育や、生きたままの運搬、放蝶は禁止されています。

## 7月の行事紹介



「梅雨時のキノコたちを観察しよう」の講座を7月23日(日)に開催しました。

今年の梅雨は20日頃に明けましたが、この里では14日以降は雨がなく、例年になくキノコの発見が難しくなりました。講師の案内で里山を散策し、15種類程のキノコを採取することができ、採取したキノコを並べて、キノコの名前合わせ、生える場所、特性などを教えて頂きながら観察しました。また、写真パネルのキノコの解説もあり、とても楽しい一日となりました。

## 8月の行事予定

|       |         |     |              |       |
|-------|---------|-----|--------------|-------|
| 6日(日) | 夏休み昆虫教室 | 30名 | AM9:30~11:30 | 山口 信夫 |
|-------|---------|-----|--------------|-------|

内容 ~ カブトムシやクワガタなどの昆虫の探し方やトンボやアゲハチョウなど実際にタモを使って採取し生態などを詳しく観察します。

|        |               |     |              |      |
|--------|---------------|-----|--------------|------|
| 20日(日) | 親子で作ろう！自然素材工作 | 20名 | AM9:30~11:30 | 当園職員 |
|--------|---------------|-----|--------------|------|

内容 ~ 里山の「小枝」や「木の実」などの自然素材を使い、親子で木のぬくもりを感じながら、恐竜や昆虫など、きっと夏休みの工作にもピッタリな作品を楽しく手作りしてみませんか？

## 9月の行事予定

|        |        |     |              |       |
|--------|--------|-----|--------------|-------|
| 17日(日) | 楽しい絵手紙 | 20名 | AM9:30~11:30 | 市川百合子 |
|--------|--------|-----|--------------|-------|

内容 ~ 「へたでいい へたがいい」とハガキにはみだす位に大きく書こう。  
緑がいっぱいのふれあいの里の自然の植物や生物を、心を込めて書きましょう。

|        |               |     |              |      |
|--------|---------------|-----|--------------|------|
| 24日(日) | 秋の里山で野鳥を観察しよう | 30名 | AM9:30~11:30 | 高田俊洋 |
|--------|---------------|-----|--------------|------|

内容 ~ 秋の里山で野鳥を観察します。北から南へ渡ってゆく旅の途中の小鳥を観察します。  
夏鳥の小鳥が帰ってゆく姿や、タカの仲間も観察できるかもしれません。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下の場合**は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候により**、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

## 西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課